

(町長提案理由の説明)

本日ここに、令和7年金山町議会第7回定例会を招集しましたところ、議員皆様のご出席を賜り、厚く御礼申し上げます。

本定例会に提出いたしました議案12件についてその概要を申し上げますが、それに先立ち、閉会中における行政上の主要な事項についてご報告いたします。

始めに、9月15日に開催しました敬老会は、新型コロナウイルス感染症が拡大する以前の内容で、飲食物を用意して実施いたしました。210名の方に参加をいただき、和やかな雰囲気の中で、盛会に終えることができました。

10月17日には、町道中川大栗山線の開通式を執り行いました。平成13年に事業を開始して以来24年の歳月を要し、福島県による代行事業も組み入れながら整備を行ったものであります。今後についても一部区間の拡幅改良を進めながら、沼沢湖まで大型車が容易に通行できるように整備を進めたいと考えております。

10月25日、26日には、奥会津ごっつおまつりを開催しました。2日目は、あいにくの小雨模様の天候でありましたが、2日間で4,000人程の来場者があり、ステージショーや地元産品の購入など子供から大人まで楽しんで頂けたと感じております。

また、そばやもち、ごっつお汁、鮎の塩焼きなどの出店ブースも大盛況であり、当町の食の魅力を十分に堪能されたのではないかと考えております。今後も、交流人口、関係人口の拡大に繋がるよう取組みを進めて参ります。

10月31日には、白河－奥会津地域広域連携事業首長会議が昭和村で開催されました。これは、只見川電源流域7町村と下郷町、会津美里町、白河市、西郷村、天栄村の12市町村が観光を起点とした自治体間の連携、地域全体に広がる経済効果の創出、人的交流の拡大による人口減少対策の3項目を目的として、広域的に取組を行うもので、令和8年度から活動を開始することといたしました。

11月1日には、かねやま小学校において「かねやまフェスティバル」学習発表会が開催され、出席して参りました。統合して初めての文化祭であり、多くの保護者の来場参観があり、旧横田小、旧金山小の児童が仲良く発表する姿は、とても印象的でした。それぞれが一生懸命友達と練習をした成果を発表され、34名の児童の達成感に満ちた様子を拝見することができ、未来ある子供達にエールを送りたいと思います。

11月3日には、今まで各公民館で実施していた文化祭を統一し、中央公民館を主体とした金山町文化祭を開催いたしました。各地区による文化祭が、単独では開催が困難になったため、新たに実行委員会を組織し実施したものです。多少の不安はあったもののそれぞれの公民館が協力し、文化協会を始めとする関係各位の皆様の協力・支援の下、多数の来場者があり、成功裏に終了しました。来年度以降についても、更に充実を図りながら継続して参りたいと思います。

11月8日には、金山町合併70周年記念式典を開催しました。福島県知事、国會議員、県會議員、友好都市の羽生、鴻巣両市長を始め多くのご来賓の皆様、町特別功労者、行政区長、町議会議員の皆様など多数の出席を賜り、あらためてお礼申し上げます。昭和30年3月に4ヶ村が合併して以来70年の歴史を振り返り、これまでの金山町を支えてくださった先人たちに感謝し、これからの金山町の更なる発展のため、町民福祉の向上を目指す思いを新たにしました次第であります。

次に、有害鳥獣対策についてであります。今年は、例年に比して有害鳥獣の出没が多く、クマ、イノシシ、サルなどによる被害が多く見られました。被害防止のため、対策の啓蒙、早朝夜間の外出の注意喚起などを広報紙・防災行政無線・公式 LINE などを通じて広報をして参りました。

更に、有害鳥獣捕獲隊による箱ワナの設置やパトロールなどを行って来ましたが、残念なことに10月29日に本名下タ原地内でクマによる人身事故が発生いたしました。現在も入院中であり、心からお見舞い申し上げる次第であります。

クマの捕獲数は、今までの最高数となっており、有害鳥獣捕獲隊の皆様には、連日の出勤でその活動に深甚なる感謝を申し上げます。なお、今後はクマの冬眠時期となりますが、今しばらくは、日常生活はもちろん、農作業等野外活動に際しては、充分注意されるよう広報・注意喚起を行って参ります。

次に、物価高騰対策についてであります。現在、国において、物価高騰対策の補正予算が検討されておりますが、提案・可決されれば、当町においてもそれに対応した速やかな予算措置が必要になります。国の今後の動向を注視しながら、情報収集に努めて参りますので、短期間での対応が必要な折には、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。